

「(仮称)青森市地域福祉計画」策定に係る

アンケート調査(市民用)

集 計 結 果

■ 調査目的

新しい「(仮称)地域福祉計画」の策定に当たって、市民や各団体の考え・意識などの現状と課題を把握し、地域福祉計画の基礎資料とするため。

■ 調査対象者数

18歳以上の市民700人（住民基本台帳から無作為抽出）

■ 調査期間

12日間（平成27年6月15日～平成27年6月26日）

■ 調査方法

住民基本台帳から無作為に抽出した調査対象者へ郵送により配布し、郵送により回収する

■ 回答数・回答率

286件・40.9%

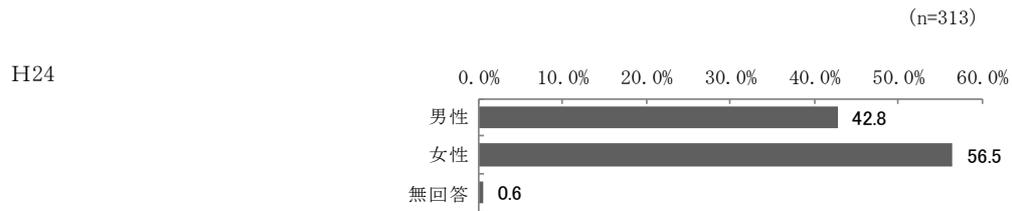
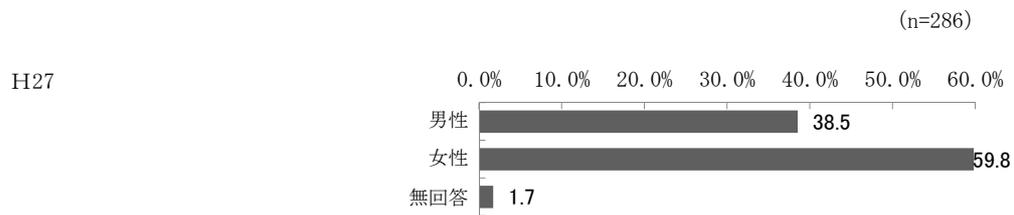
■ 注意事項

- (1) 図表中の「n」は、回答数を示しています。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答数を基礎として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答形式の設問については、回答比率の合計を100%とするために、その設問の総回答数を基礎として回答比率を算出しています。

《 I. あなたご自身のことについて 》

【問1】

あなたの性別はどちらですか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）



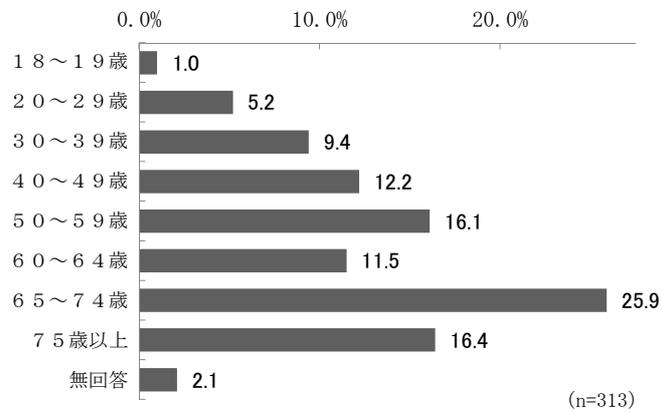
性別については、「女性」と回答した人の割合が59.8%、「男性」が38.5%となっています。
前回調査時は「女性」56.5%、「男性」42.8%でした。

【問2】

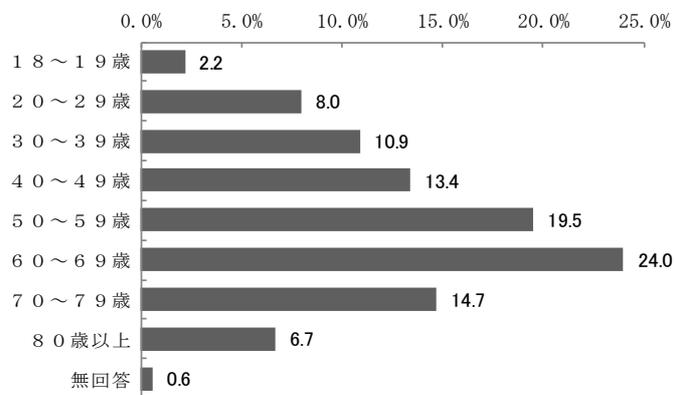
あなたの年齢はおいくつですか（平成27年5月1日現在）。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

(n=286)

H27



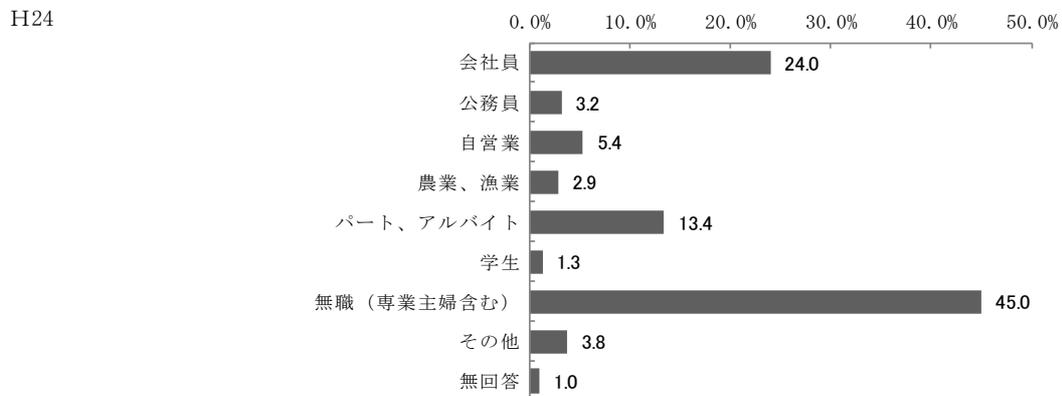
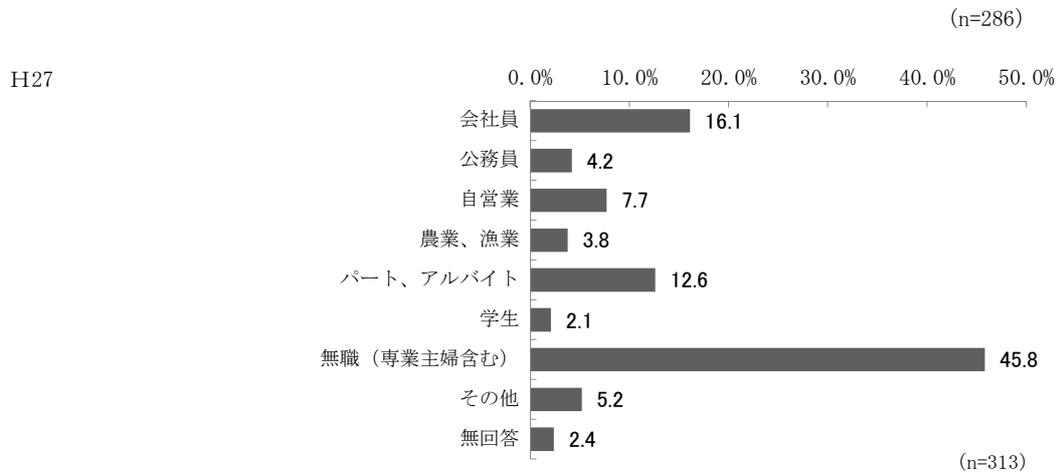
H24



年齢については、「65～74歳」と回答した人の割合が25.9%と最も高く、次いで「75歳以上」が16.4%となっています。前回調査時は「60～69歳」24.0%、「50～59歳」19.5%と同様の結果でした。

【問3】

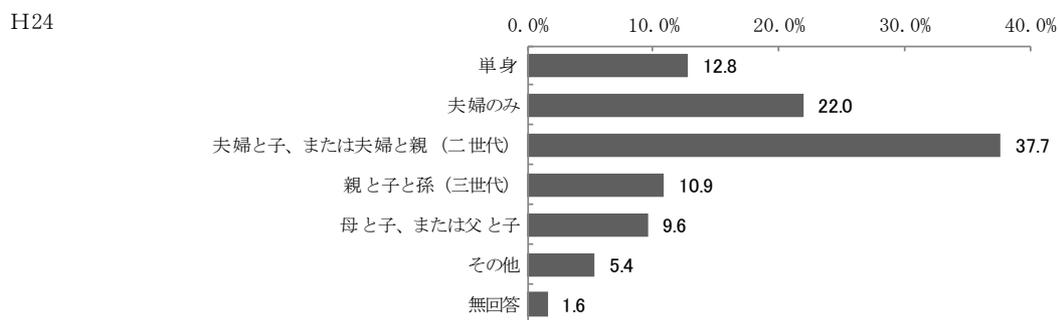
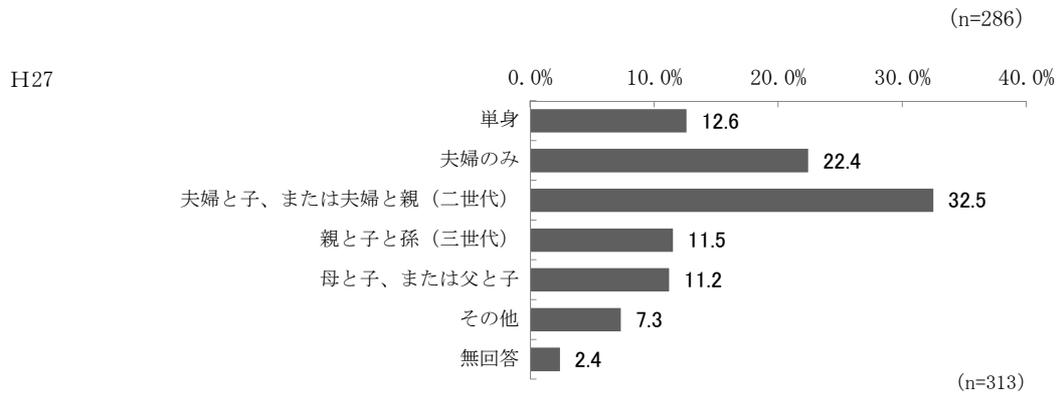
あなたの職業は、次のどれにあたりますか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）



職業については、「無職（専業主婦含む）」と回答した人の割合が45.8%と最も高く、次いで「会社員」が16.1%となっています。前回調査時と同様の結果でした。

【問4】

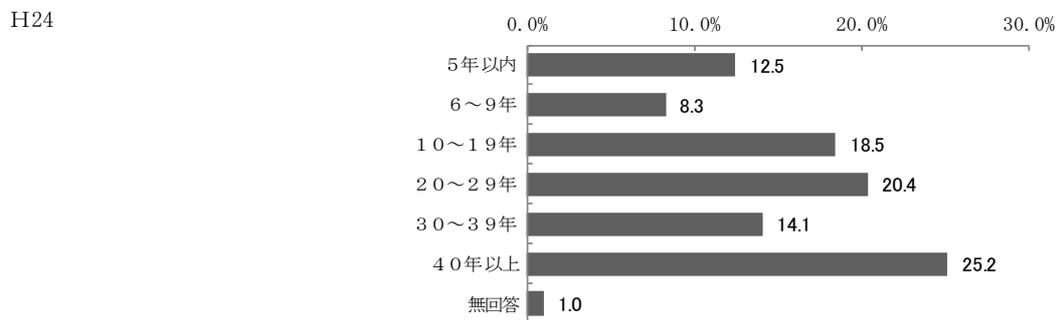
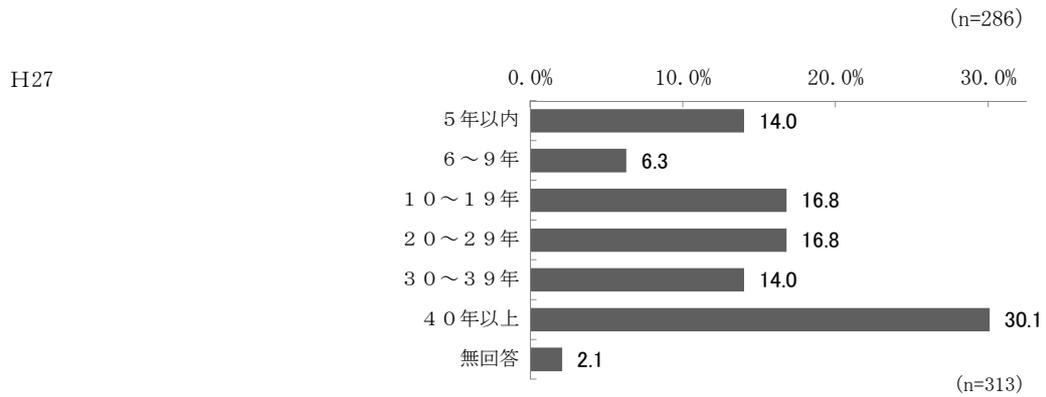
あなたの家族構成は、次のどれにあたりますか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）



家族構成については、「夫婦と子、または夫婦と親（二世代）」と回答した人の割合が32.5%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が22.4%となっており、前回の調査と同様の結果でした。

【問5】

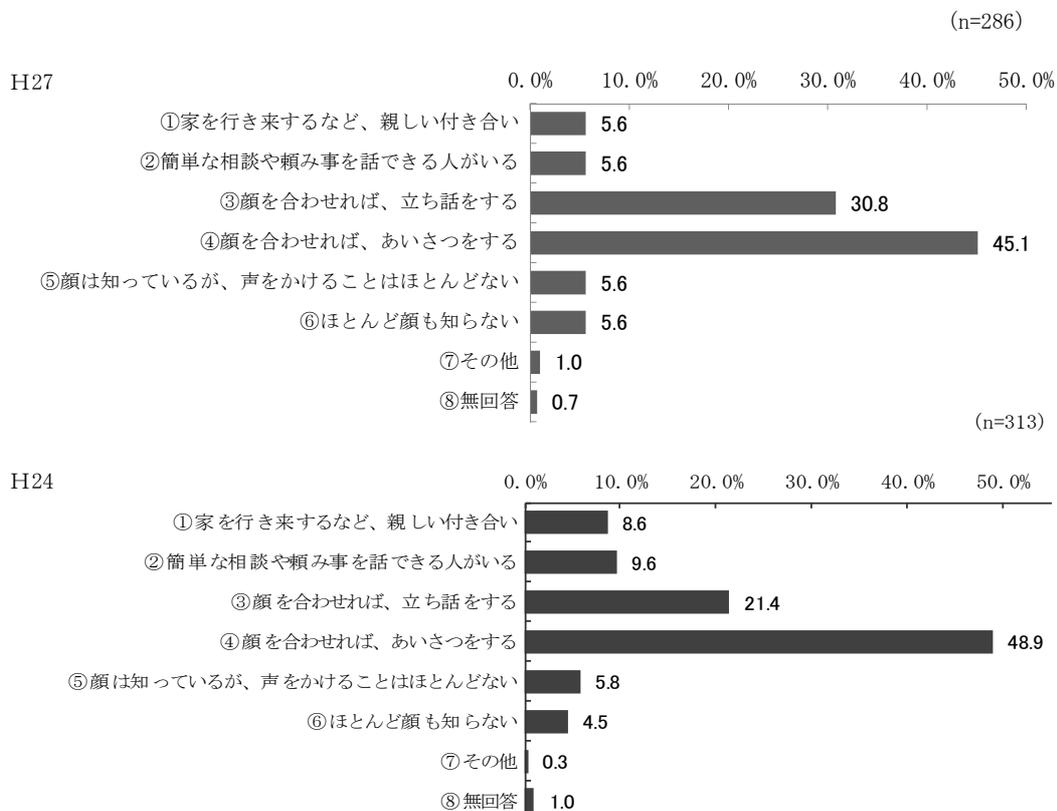
あなたは、現在の地区に何年お住まいですか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）



現在の地区に住む年数については、「40年以上」と回答した人の割合が30.1%と最も高く、次いで「10～19年」、「20～29年」が16.8%となっています。前回の調査と比較して「40年以上」と回答した人の割合が増えています。

《Ⅱ. 地域の暮らしについて》

【問6】あなたは、近所の人とどの程度のお付き合いがありますか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）



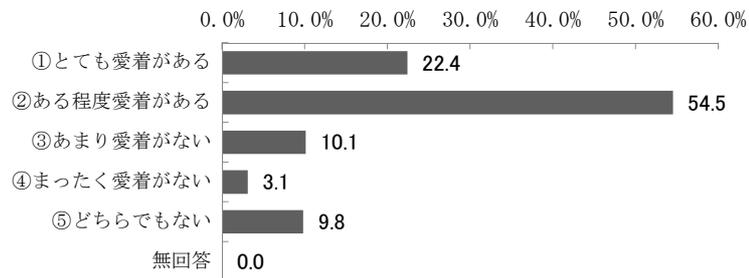
近所付き合いについては、「④顔を合わせればあいさつ」と回答した人の割合が45.1%と最も高く、次いで「③顔を合わせれば立ち話」が30.8%となっています。前回の調査と比較すると、顔を合わせれば立ち立ち話をする割合は増加しましたが、それ以上の親しい付き合いまでの関係性であると回答した人の割合はそれぞれ減少しました。

【問7】

あなたは、お住まいの地域に愛着をお持ちですか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

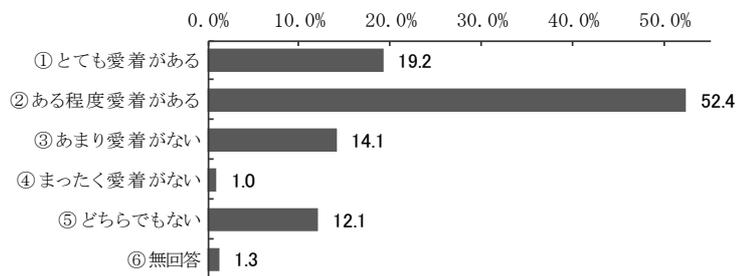
(n=286)

H27



(n=313)

H24

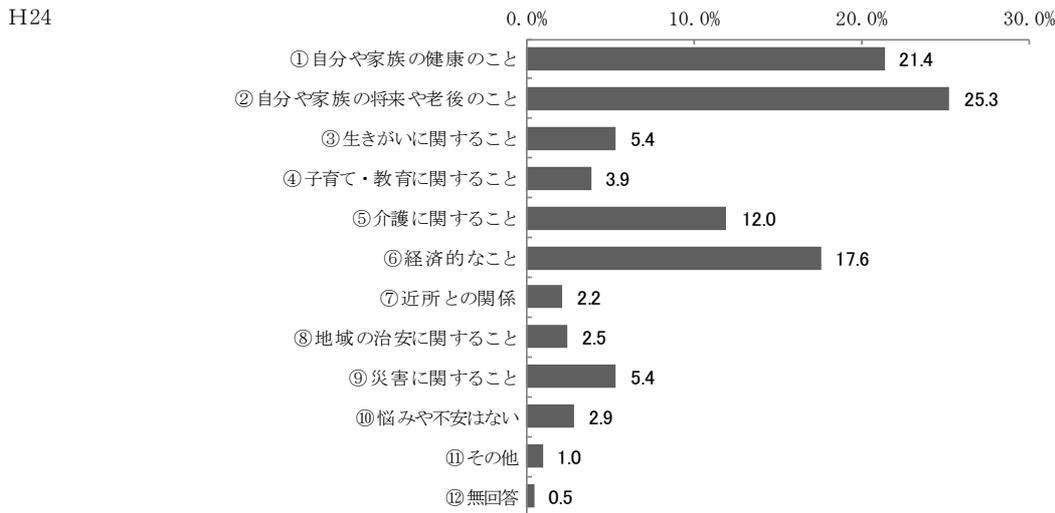
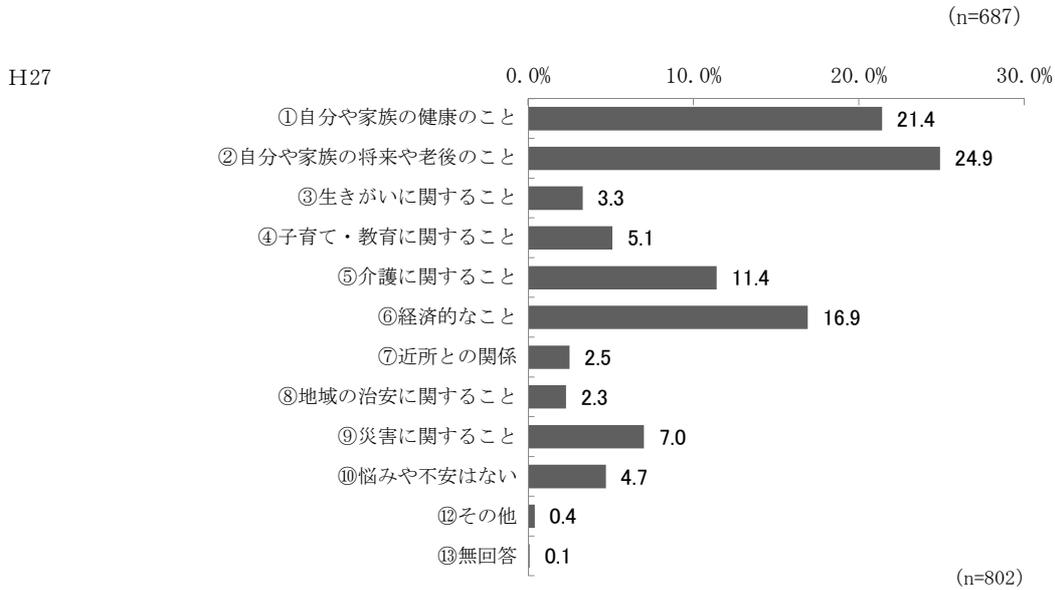


地域への愛着については、「②ある程度愛着がある」と回答した人の割合が54.5%と最も高く、次いで「①とても愛着がある」が22.4%となっています。

前回の調査と同様の結果となりましたが、愛着がある人の割合が増えました。

【問8】

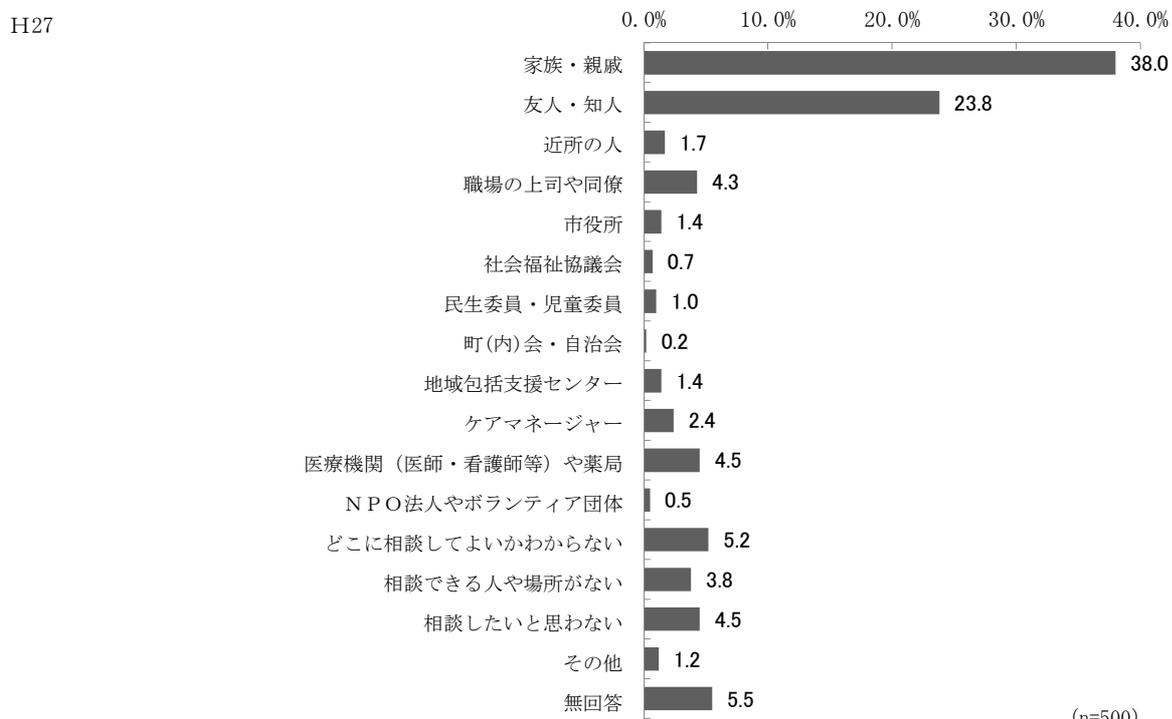
あなたは、日々の生活において、どのような悩みや不安を感じていますか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



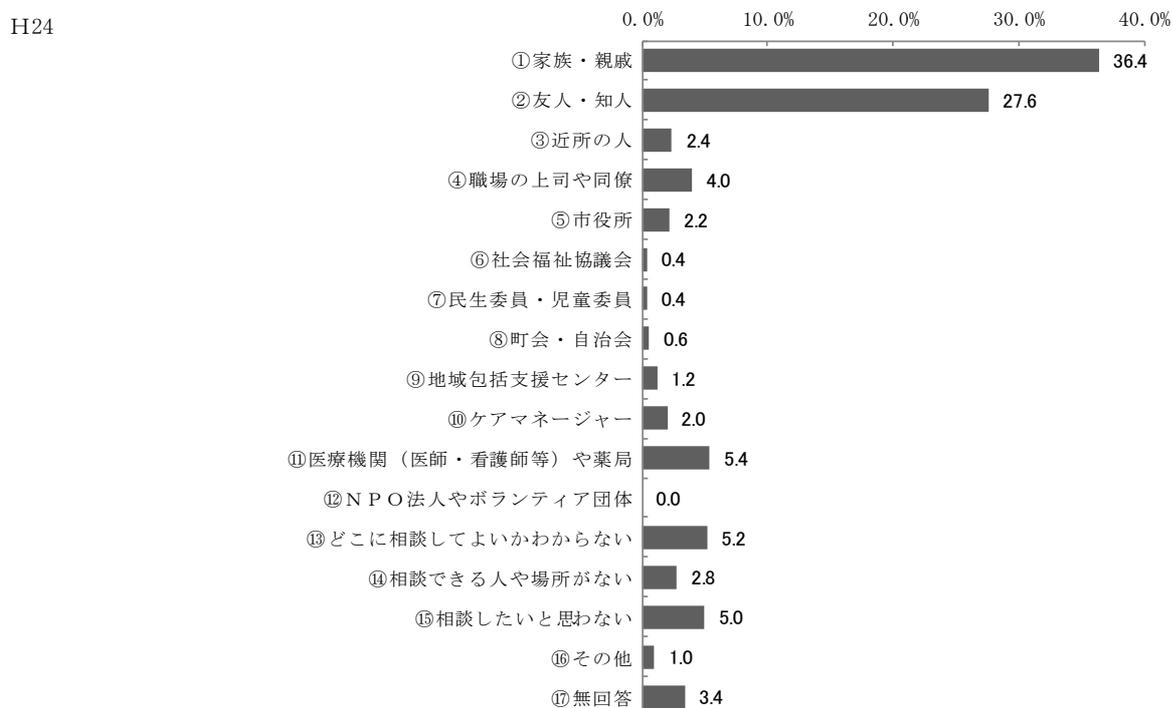
日々の悩みや不安については、「②自分や家族の将来や老後」と回答した人の割合が24.9%と最も高く、次いで「①自分や家族の健康」が21.4%となっており、前回の調査とほぼ同様の結果となりました。

【問9】<【問8】で「悩みや不安はない」以外と回答した方のみ>
 あなたは、悩みや不安について、誰に、もしくはどこに相談していますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

(n=421)



(n=500)



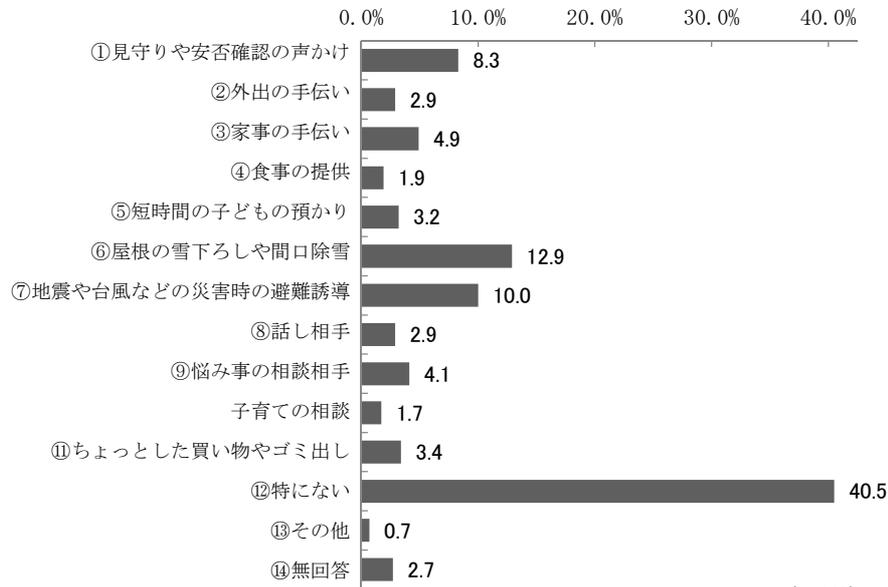
日々の悩みや不安を持っている人の相談先については、「①家族・親戚」と回答した人の割合が38.0%と最も高く、次いで「②友人・知人」が23.8%となっています。

【問10】

あなたは、日々の生活において、どのような福祉サービスや支援を必要としていますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

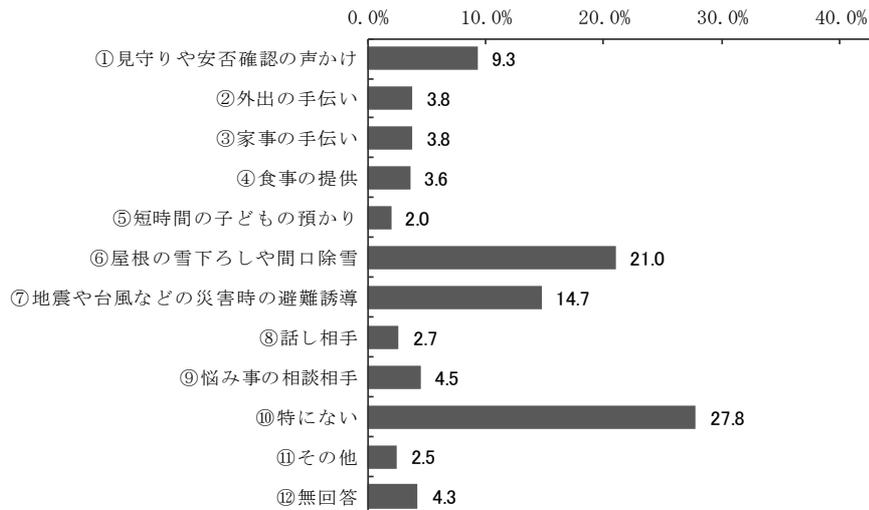
(n=412)

H27



(n=443)

H24

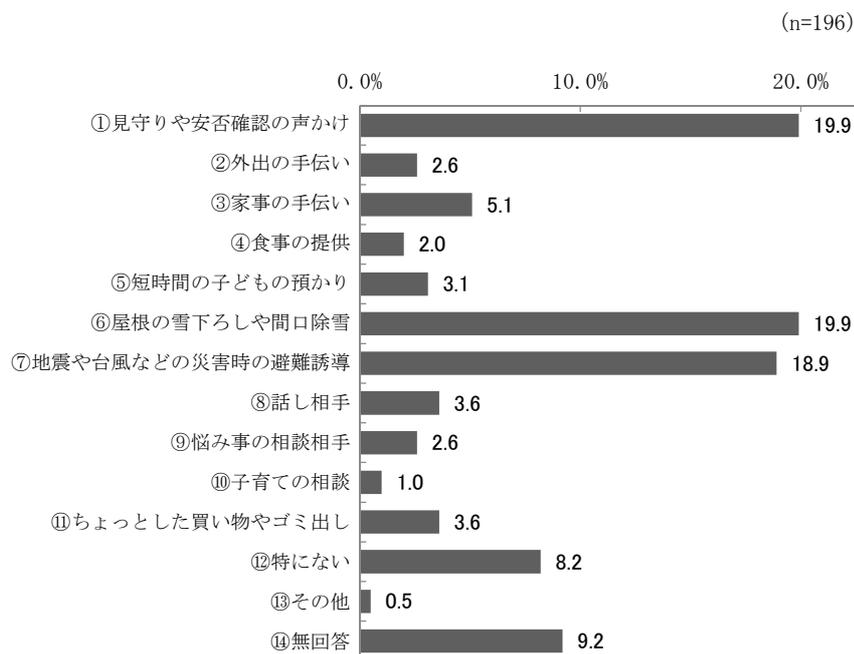


必要としている福祉サービスや支援については、「⑫特にない」と回答した人の割合が40.5%と最も高く、次いで「⑥屋根の雪下ろしや間口除雪」が12.9%となっています。

「⑦災害時の避難誘導」や「①見守りや安否確認の声かけ」の割合もやや高くなっています。前回の調査と比較すると特にないの割合が増加しました。

【問11】

問10で回答した必要な福祉サービスや支援のうち、近所や地域の人に支援してほしいものは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

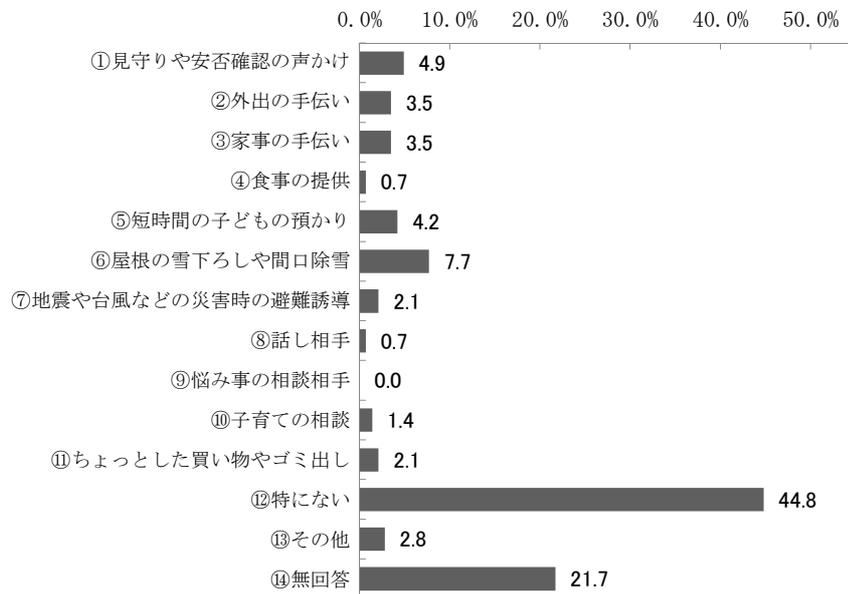


必要としている福祉サービスや支援のうち近所や地域の人に支援してほしいものについては、「①見守りや安否確認の声かけ」、「⑥屋根の雪下ろしと間口除雪」と回答した人の割合が19.9%と最も高くなっており、「⑦地震や台風などの災害時の避難誘導」の割合も高くなっています。（今回初調査）

【問12】

問10で回答した必要な福祉サービスや支援のうち、あなたが実際に受けている福祉サービスや支援は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

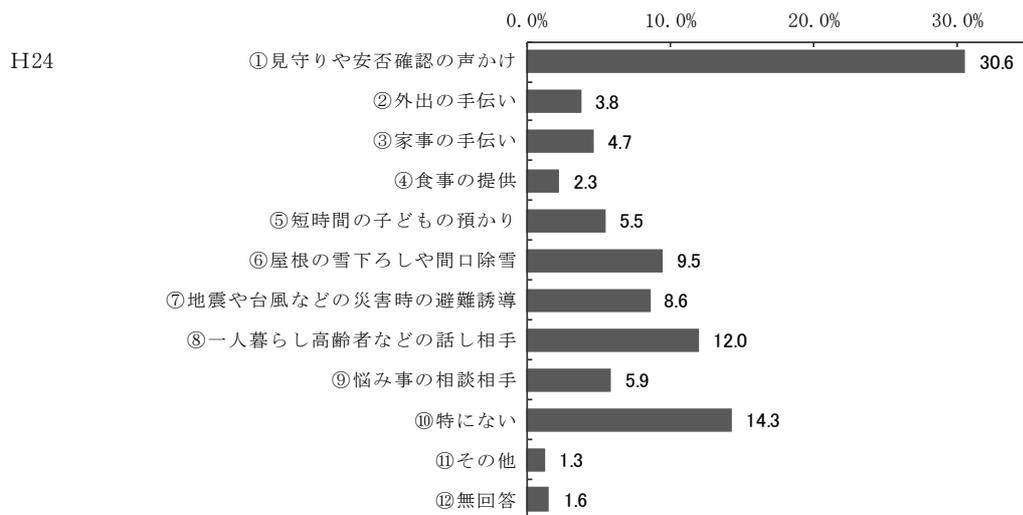
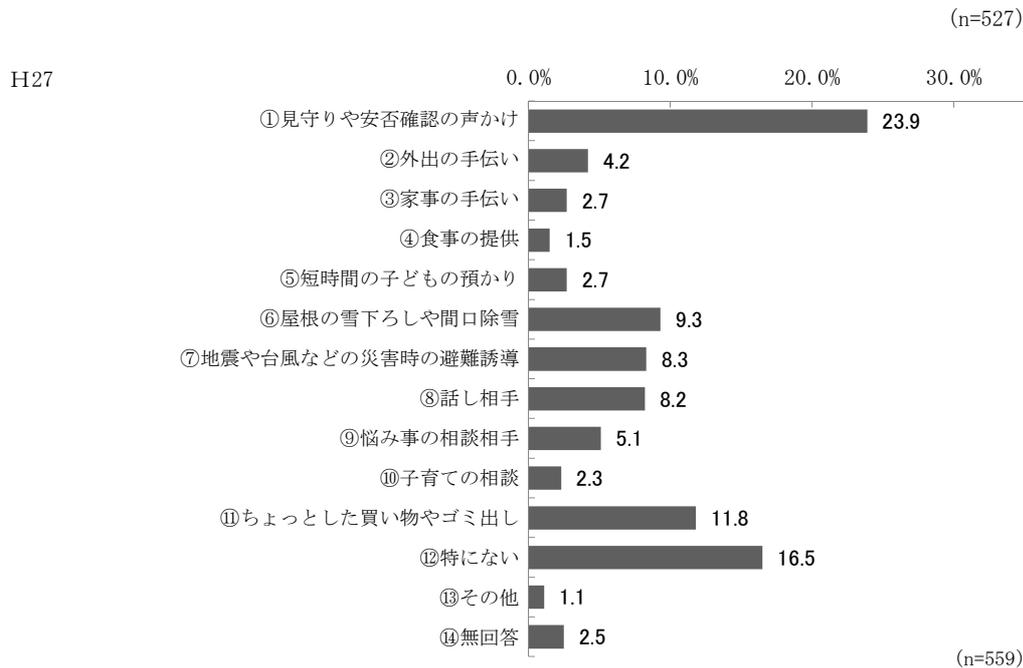
(n=143)



必要としている福祉サービスや支援のうち実際に受けているサービスや支援については、「⑫特にない」と答えた人の割合が最も高く44.8%となっており、次いで「無回答」が21.7%となっています。サービスを受けているものの中では、「⑥屋根の雪下ろしや間口除雪」が一番高く7.7%となっており、次いで「①見守りや安否確認の声かけ」が4.9%となっています。（今回初調査）

【問13】

近所に、日々の生活において、支援を必要としている人がいた場合、あなたはどのような手助けができますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



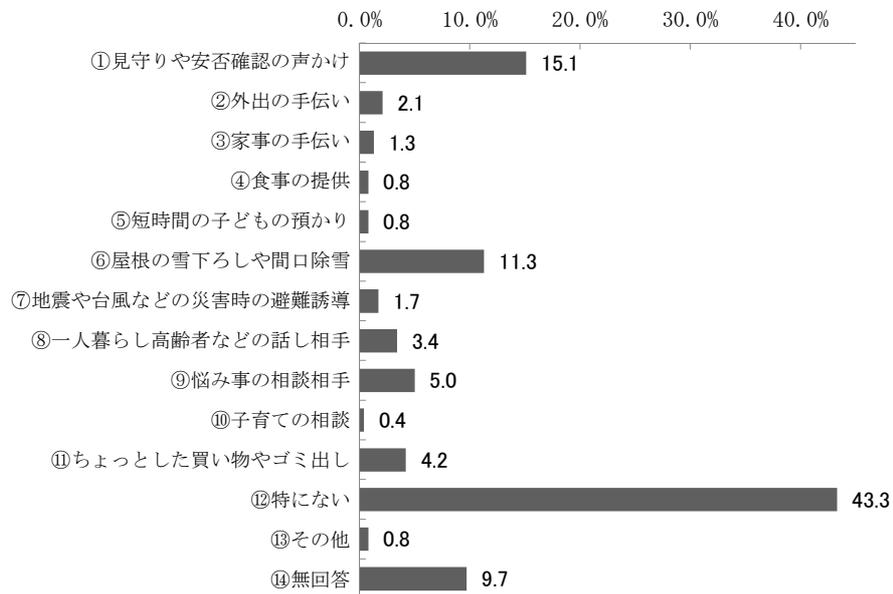
どのような手助けができるかについては、「①見守りや安否確認の声かけ」と回答した人の割合が23.9%と最も高く、次いで「⑫特にない」が16.5%となっています。

前回の調査と比較すると①の見守りや声掛けの割合が減少し、特にないと回答した人の割合が少し増えています。

【問14】

問13で近所の方に手助けが可能と答えた項目のうち、あなたが実際に行っている手助けはどのようなものがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

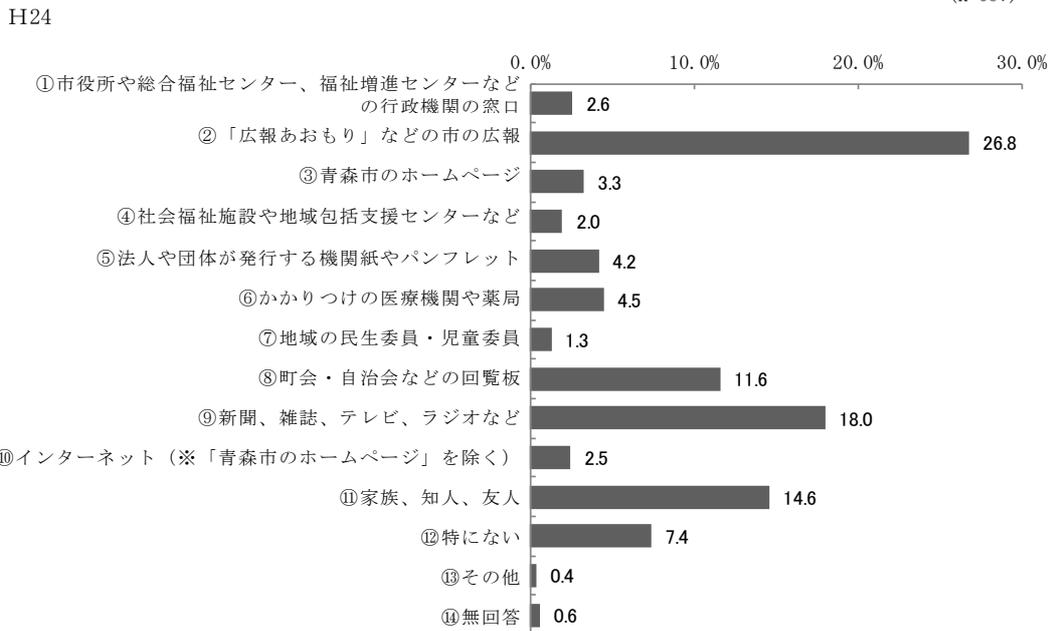
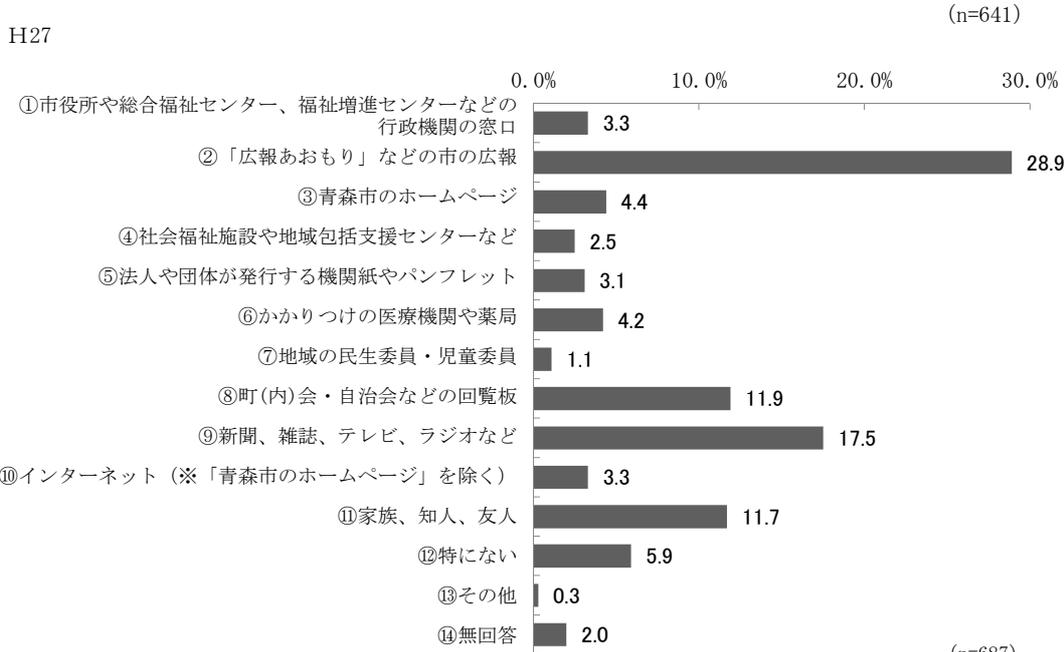
(n=238)



手助けが可能な支援のうち実際に行っている手助けについては、「⑫特にない」と答えた人の割合が最も高く43.3%となっており、次いで「①見守りや安否確認の声かけ」が15.1%となっています。「⑥屋根の雪下ろしや間口除雪」も11.3%と回答の中では比較的高くなっています。（今回初調査）

【問15】

あなたは、福祉サービスに関する情報をどのようにして入手していますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



福祉サービス情報をどのように入手しているかについては、「②市の広報」と回答した人の割合が28.9%と最も高く、次いで「⑨新聞、雑誌、テレビ、ラジオなど」が17.5%となっています。

「⑧町会・自治会などの回覧板」や「⑪家族、知人、友人」の割合もやや高くなっており、前回の調査と同様の結果となりました。

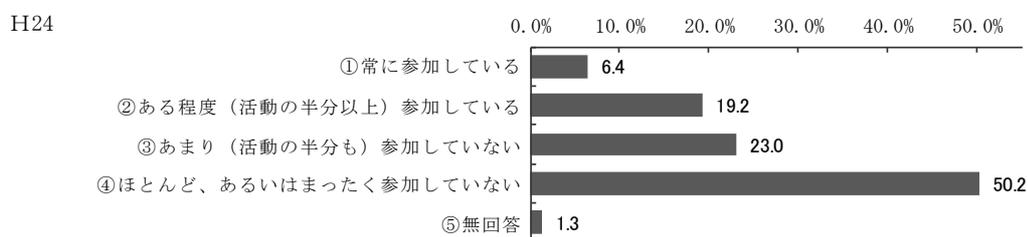
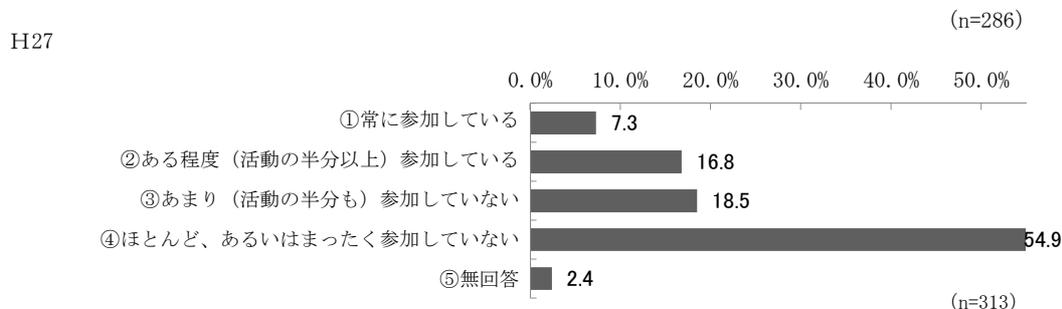
《Ⅲ. 地域との関わりについて》

【問16】

あなたは、町(内)会などが行う地域活動にどの程度参加していますか。該当するものに○をつけてください。(○は1つ)

※町(内)会などが行う地域活動の例

清掃活動、資源回収、老人クラブ活動、女性団体活動、青年会活動、防災訓練、お祭り など



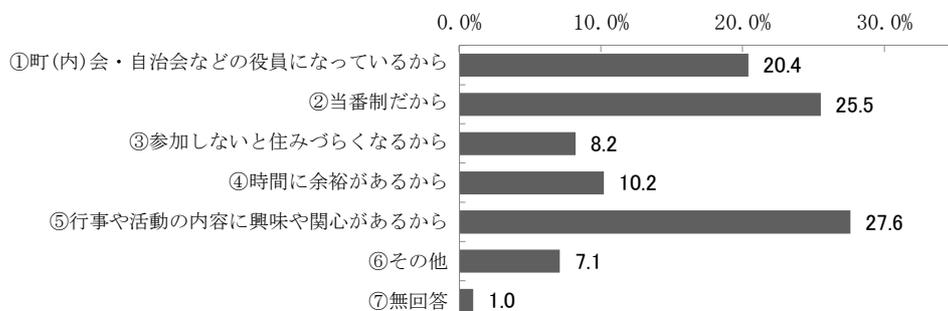
地域活動への参加状況については、「④ほとんど、あるいは全く参加していない」と回答した人の割合が54.9%と最も高く、次いで「②あまり(活動の半分も)参加していない」が18.5%となっています。

前回の調査と比較して、地域活動にほとんど、あるいはまったく参加していない人の割合が増加しています。

【問17】<【問16】で「常に参加している」又は「ある程度（活動の半分以上）参加している」と回答した方のみ町会などが行う地域活動に参加している理由は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

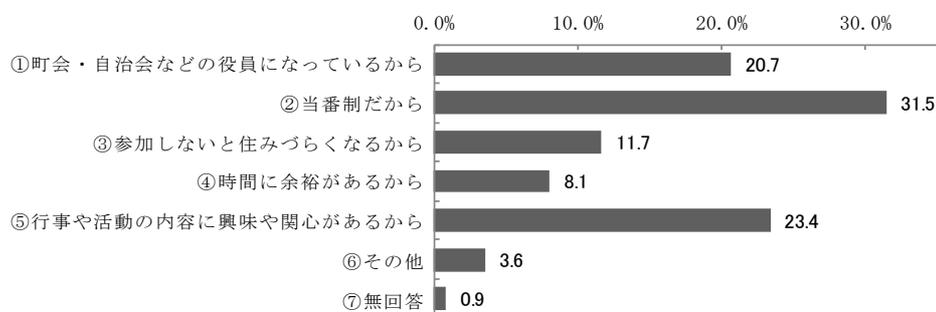
H27

(n=98)



H24

(n=111)

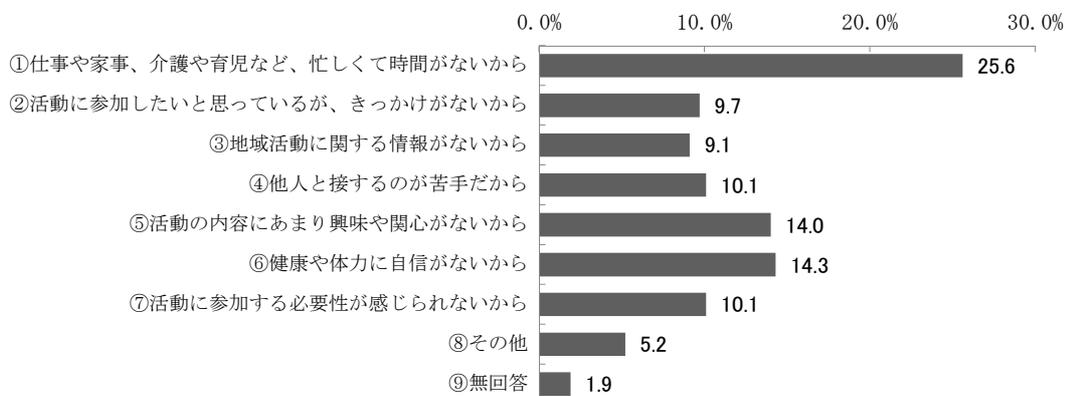


地域活動に参加している理由については、「⑤行事や活動の内容に興味や関心があるから」と回答した人の割合が27.6%と最も高く、次いで「②当番制だから」が25.5%となっています。前回の調査と比較して、行事や活動の内容に興味や関心があるからと回答した人の割合が増えています。

【問18】 <【問16】で「あまり（活動の半分も）参加していない」又は「ほとんど、あるいはまったく参加していない」と回答した方のみ>
 町会などが行う地域活動に参加しない（できない）理由は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

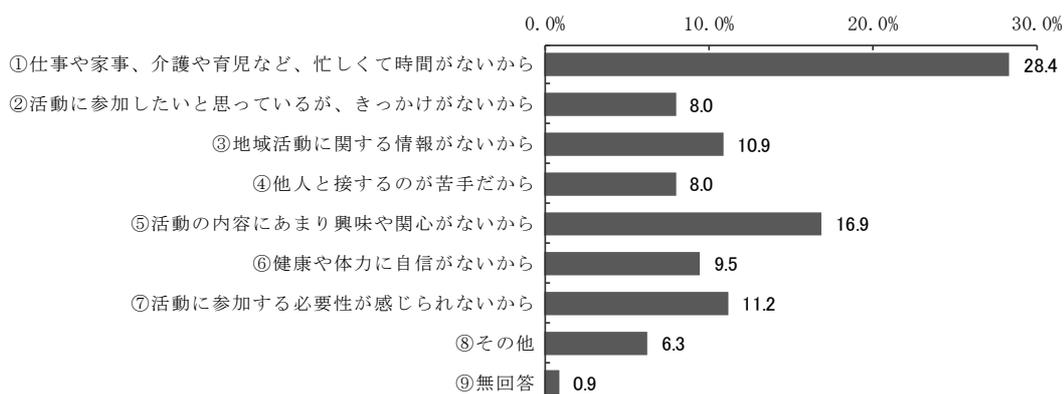
H27

(n=308)



H24

(n=349)



地域活動に参加しない（できない）理由については、「①忙しくて時間が無いから」と回答した人の割合が25.6%と最も高く、次いで「⑥健康や体力に自信がないから」が14.3%となっています。

前回の調査と比較すると、忙しくて時間がないからという理由の人の割合は減少していますが、健康や体力に自信がないからという理由の人の割合が増加しています。

《Ⅳ. ボランティア活動について》

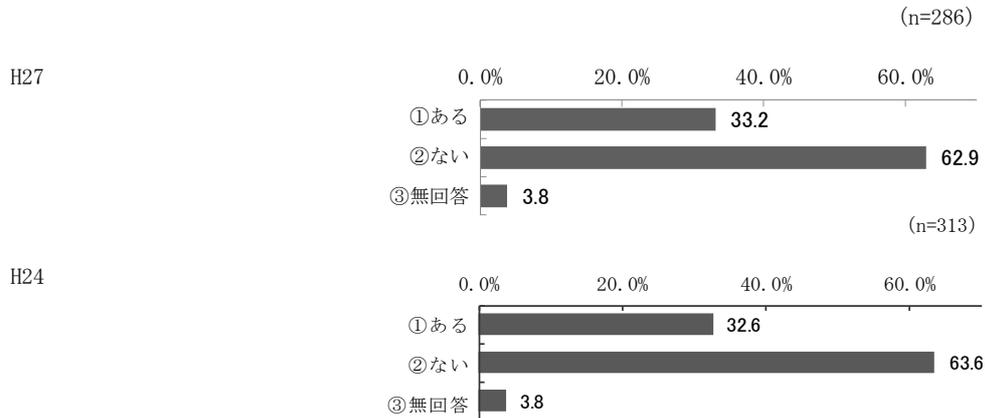
【問19】

あなたは、これまでに、ボランティア活動に参加したことがありますか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

※ボランティア活動の例

高齢者・障がい者の生活支援、手話や筆談・音読、子育て相談、絵本の読み聞かせ、清掃活動、リサイクル活動、

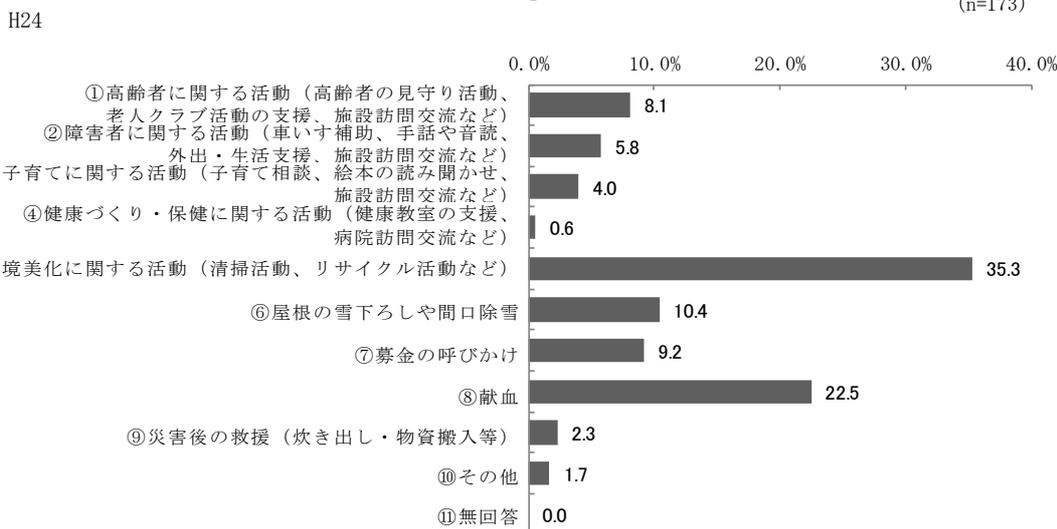
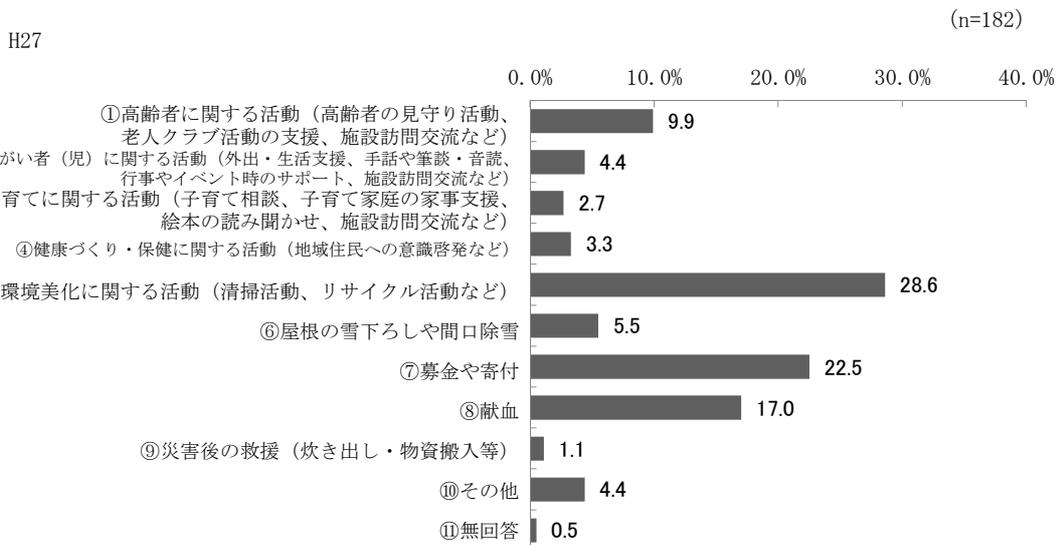
緑化活動、除雪（屋根の雪下ろし等）、募金、献血、災害後の救援（炊き出し・物資搬入等） など



ボランティア活動への参加状況については、「②ない」と回答した人の割合が62.9%と最も高く、次いで「①ある」が33.2%となっており、前回の調査と同様の結果となりました。

【問20】<【問19】で「ある」と回答した方のみ>

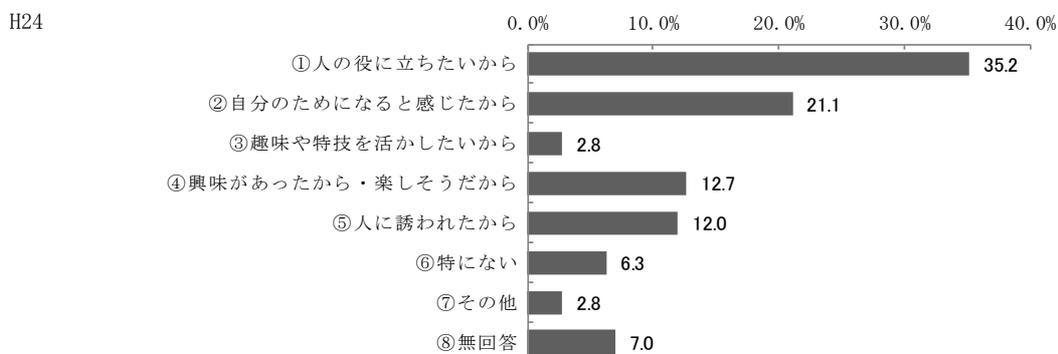
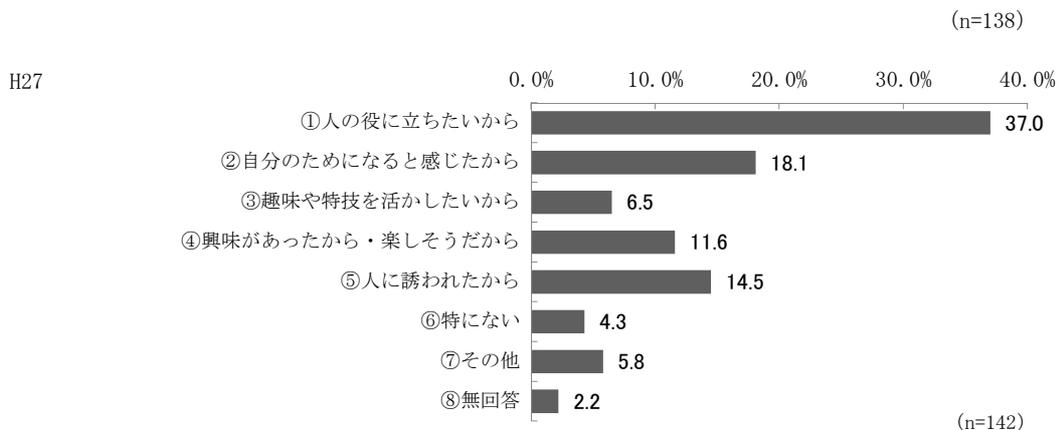
これまでに参加したボランティア活動は、どのような活動ですか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



参加したボランティア活動については、「⑤環境美化に関する活動」と回答した人の割合が28.6%と最も高く、次いで「⑦募金や寄付」が22.5%となっています。

前回の調査と比較すると、環境美化活動、除雪活動、献血等前回割合が高かった項目が減少しています。

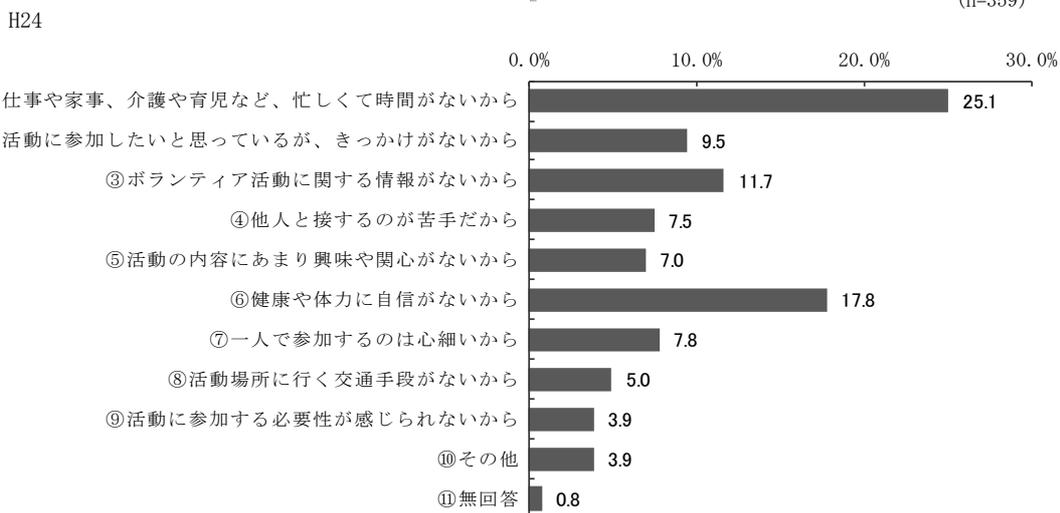
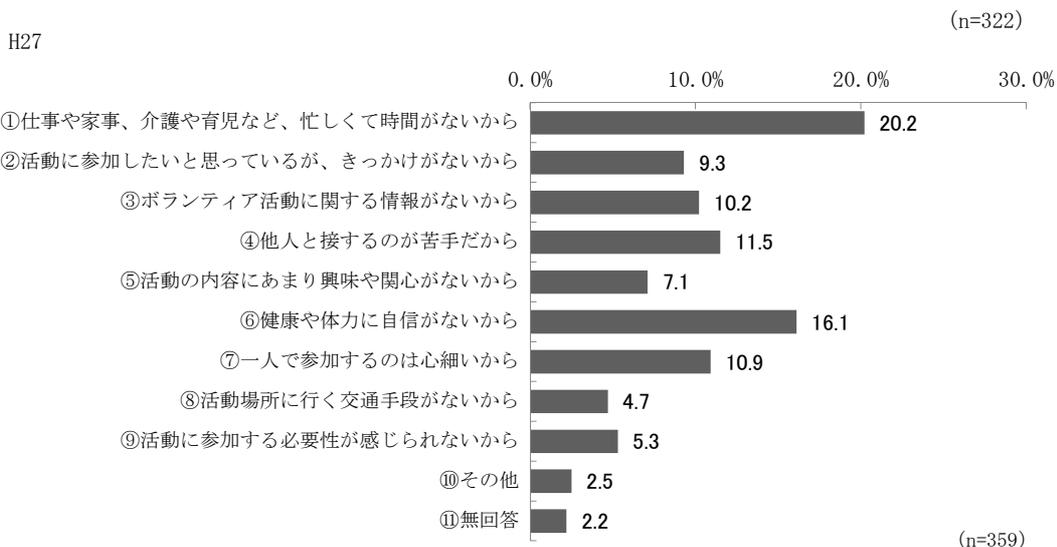
【問21】<【問19】で「ある」と回答した方のみ>
 ボランティア活動に参加したきっかけは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



ボランティア活動に参加したきっかけについては、「①人の役に立ちたいから」と回答した人の割合が37.0%と最も高く、次いで「②自分のためになると感じたから」が18.1%となっており、前回の調査とほぼ同様の結果となっています。

【問22】 <【問19】で「ない」と回答した方のみ>

ボランティア活動に参加しない（できない）理由は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。
（複数回答）



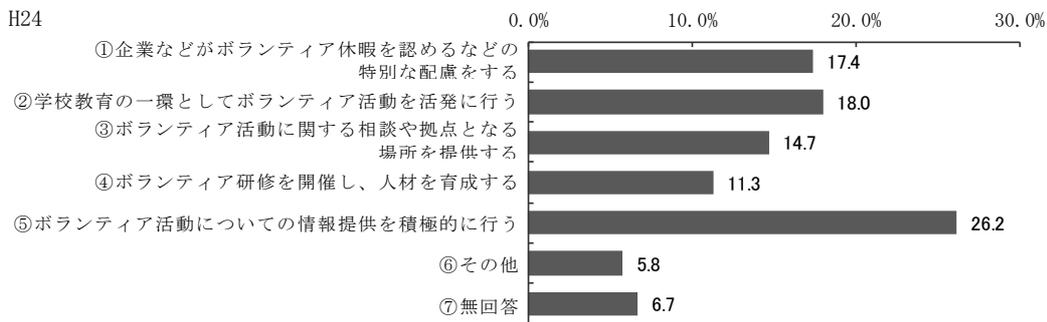
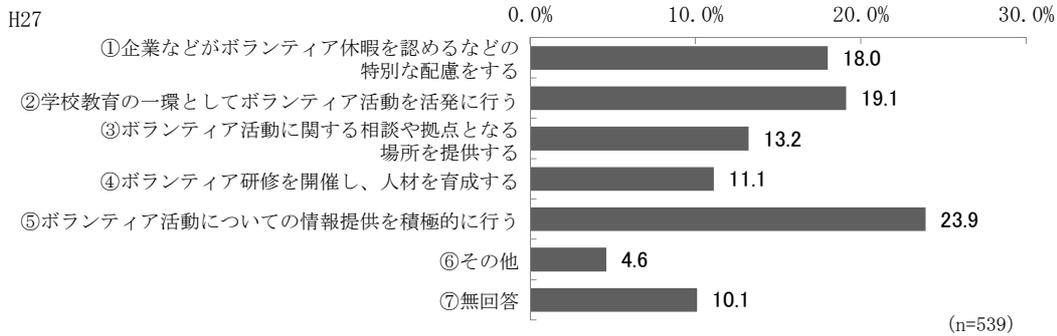
ボランティア活動に参加しない（できない）理由については、「①忙しくて時間がない」と回答した人の割合が20.2%と最も高く、次いで「⑥健康や体力に自信がない」が16.1%となっています。

前回の調査と比較すると、時間がない人の割合が減少し、他人と接するのが苦手、一人で参加するのは心細いという人の割合が増加しています。

【問23】

あなたは、どのような条件を整えばボランティア活動に参加しやすくなると思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

(n=477)



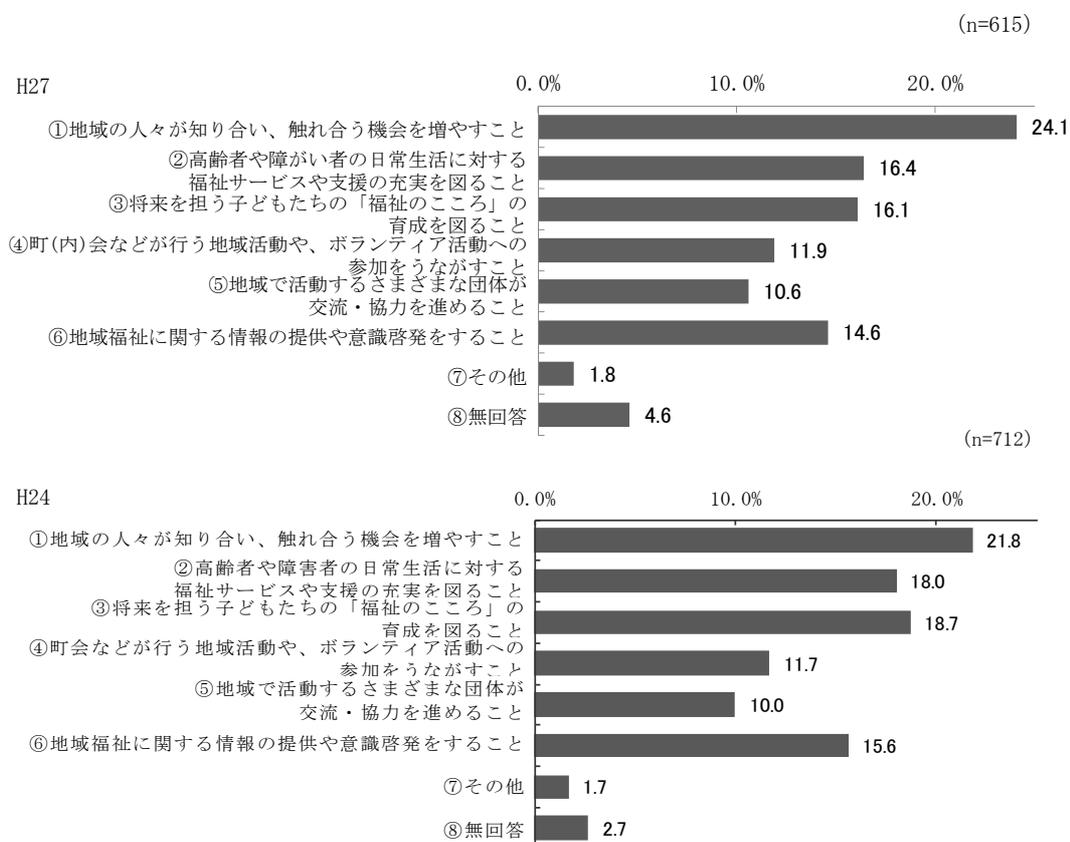
ボランティア活動に参加しやすくなる条件については、「⑤ボランティア活動についての情報提供」と回答した人の割合が23.9%と最も高く、次いで「②学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う」が19.1%となっています。

前回の調査と比較するとほぼ同様の結果となりました。

《 V. 地域福祉に関するあなたの考えについて 》

【問24】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、あなたは、どのような取り組みが必要であると考えますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

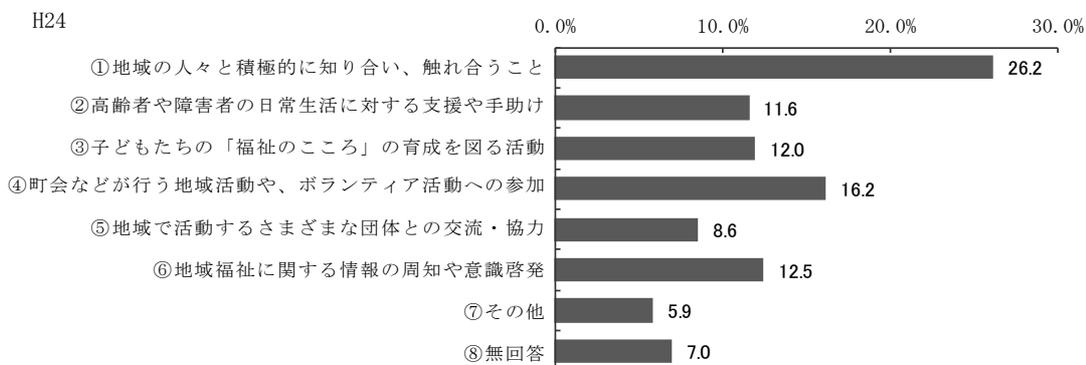
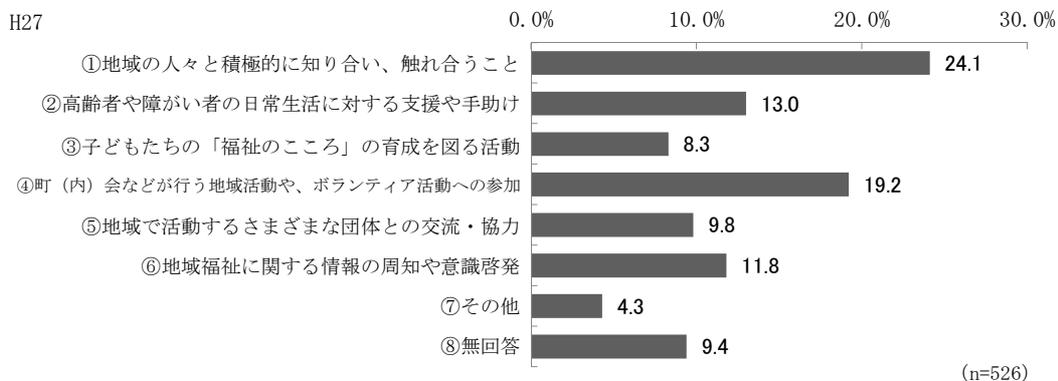


誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために必要な取り組みについては、「①地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと」と回答した人の割合が24.1%と最も高く、次いで「②高齢者や障がい者の日常生活に対する福祉サービスや支援の充実を図ること」が16.4%となっています。前回の調査と比較するほぼ同様の結果となっています。

【問25】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、あなたは、どのようなことができますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

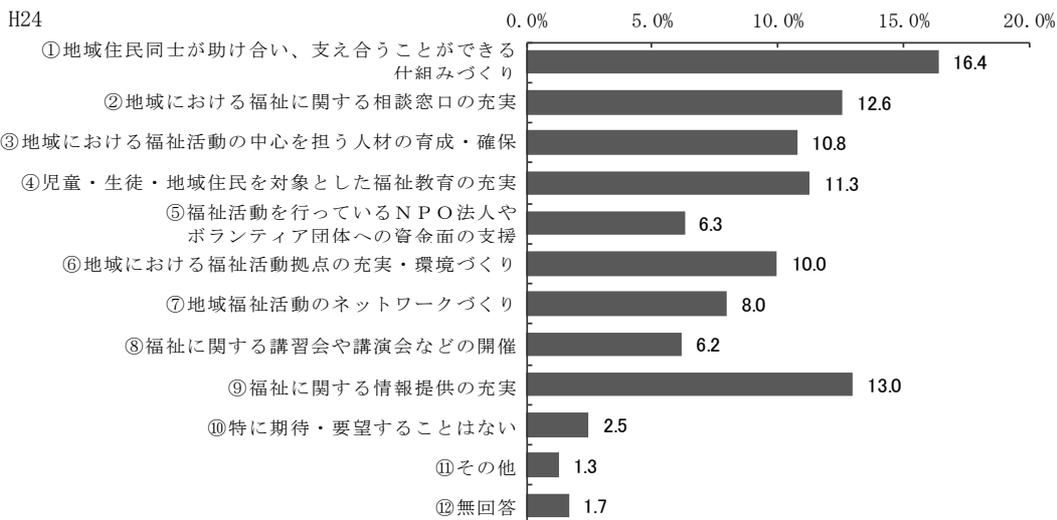
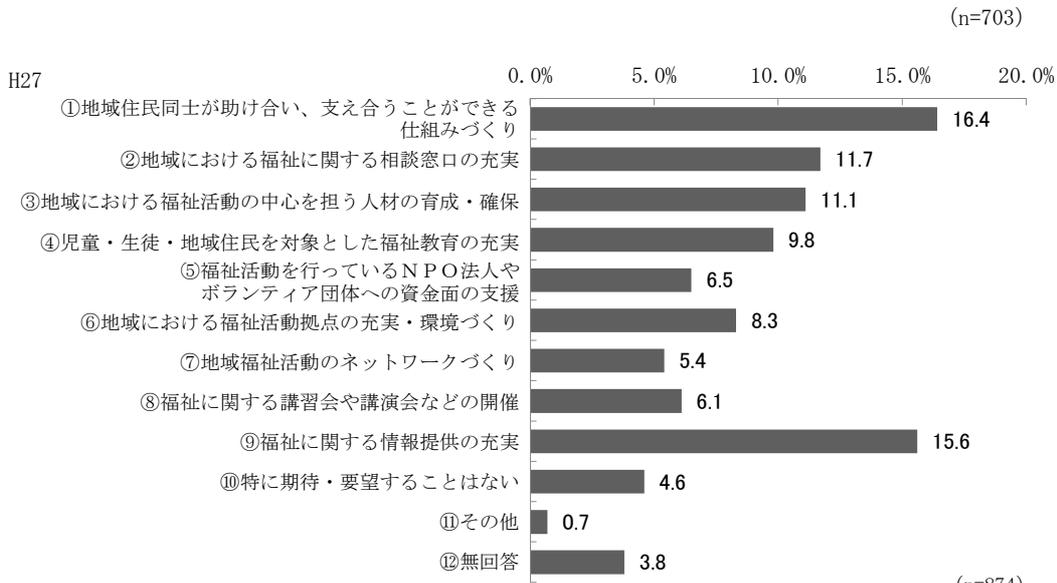
(n=468)



誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるためにできる取組みについては、「①地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと」と回答した人の割合が24.1%と最も高く、次いで「④地域活動や、ボランティア活動への参加」が19.2%となっており、前回の調査と比較して増加しています。

【問26】

あなたは、地域福祉を進める上で、行政にどのようなことを期待・要望しますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



地域福祉を進める上で行政に期待・要望することについては、「①地域住民同士が助け合い、支え合うことができる仕組みづくり」と回答した人の割合が16.4%と最も高く、次いで「⑨情報提供の充実」が15.6%となっています。

前回の調査と比較してほぼ同様の結果となっています。

【問27】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、あなたの地域のこういうところを良くすれば、地域がもっと住みやすくなるといった点など、地域福祉に関するご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。（自由記載）

別紙参照

《市民》

問 2 7 自由記載

<p>上記の事については素人です。市の方での情報提供を今まで以上に市長にアピールしてみてもいいのでは？今の青森駅を駅ビルにしてアウガにテナントとして入っている方達を駅ビルに入ってもらい、アウガ自体を市役所としてはいかがでしょう。建て替える予算もないのに市民の税金の無駄使いです。</p>
<p>私は団地に住む一人暮らしですが、まだ足腰が丈夫ですから誰の世話にもなっていませんが、又町会の行事などは出来るだけ参加するよう心がけています。私の方から言葉をかけても返事が返って来ない事が大変多いです。地域福祉はやっぱり 1 人 1 人が協力しなければ出来ない事です。出来るだけ皆さんの参加を望みます。</p>
<p>住民の和があれば。</p>
<p>桜川福祉館に駐車場がない。選挙ならびに福祉館を利用する駐車場がないため大変不便です。隣の緑地公園（木を切らないためカラスの被害がある場所）の半分くらいを駐車場に出来ないのか複数の市議に話をしているのですが？どうかよろしくお願いします。あと、同じ人間が毎年アンケートに（色々な課）答えなくてはならないのか？頭のいい市役所職員なら考えろ！採用試験 7 回も受けたよ、このやろう。</p>
<p>特にありません</p>
<p>夜に自転車を使うならライトを点けて欲しいです。ライトを点けない人は、こちらが見えても、こちらは見えていません。今は、これが大事だと感じています。</p>
<p>歩ける範囲内に誰でもが集える場所作りが必要。特に今ある集会所等公共的な施設が使えない状況は解消すべきです。</p>
<p>人が歩く道を整備して下さい。冬の雪道もお願いします。</p>
<p>性格的なものもありますが、これまで「地域福祉」というものに対してあれこれと考えたことがありません。そのため、十分なお答えが出来ず申し訳ありません。</p>
<p>住宅地の事故の多い交差点にミラーをつけてもらえば事故が減少すると思います。家の前では少なくとも年に 3 回は事故があります。</p>
<p>日常生活で不安な事や困っている事等何でも気軽に相談できる様な場所が身近にある事。（例えば、手続き等役所にわざわざ行かなくとも、そこでやってくれるとか、福祉関係等でも知らないでいる事が多いので教えてくれるとか等々）各町内にそういう場所と人材が必要だと思います。又そういう場所でいろんな人達が集まり触れ合い支え合っていたらと思う。※役所はとかく上から目線の様な所があるので例えば知らないで手続きに行かないと駄目になるというのではなく、電話などでもそういう場合は教えて欲しい。事務的ではなく相手の立場を理解し接していける様に望みます。</p>
<p>横内地区は夏は良いのですが冬は雪が多く毎日の雪かきは大変です。歳もとっており雪片づけは大変です。体もきついです。</p>
<p>除雪をした後、家の前などに雪が積み上げられており、除雪自体はありがたいが後処理が大変。</p>

町会にまとまりが大切で必要。近所のまとまりがない。高齢者の事よく考えて欲しい。福祉の仕事をしている人の事を大変な仕事を良くしていると考えてもらいたい。
アンケートに丸付けた所、実行してもらえば良いと思います。
ご近所トラブルになりかねないので地域の繋がり強化より受け入れる専門施設の充実を進めて欲しい。
街灯・防犯カメラの設備、設置。警察官の増員。福祉人材の育成と地位向上(待遇や給料)を計る。→介護を行う人(事業者ではなく現場で働く人)
特にゴミの問題で変行があった場合、町内に連絡が徹底されていないと思う。
人の幸せを妬まない。人が得していることがあれば悔しくてしょうがない。そういう心を持たないような人になりたい。
私の住んでいる地域では会えば声かけなどし合うような感じで、町会長や民生委員も誰がやっているのか把握しています。程よい距離感ですが、町内には老人も多くなってきているので、このままだと災害時の避難等の時は困るかもしれません。なので災害時に誘導などが出来るような人材を育成する必要があるかもしれません。
市役所に勤めている人が、町会の総会等に出席しないので役員との交流もなく、町会の行事についての相談も出来ない。
まず基本的に重要な事柄は地域だけではなく市町村や県が連携をとって裏から支え、国が金を出してくれる事であろう。これ無くしては、地域の福祉など絵に描いた餅でしかない事になってしまいがちだ。
青森県全体が労働賃金の UP や農業収入の UP が無いと年金や介護年金などの若い「中年や若者」の支払いが大変で、老人が介護が必要でも介護を頼むと介護年金払っているのにも関わらず介護にかかる代金を払わなければいけないのはおかしい。例えばデイサービス代など。
高齢者には、充実した福祉が整えられている気がするが、子供に対しては、まったく来ていない。実際、母子家庭ですが、本当にダメだと思う。このままでは少子化がどんどん進む。確かに高齢者に対する福祉も大切だと思う。でも、子供が居なくなってしまうのは、将来がなくなる。例えば、学生はインフルエンザの予防接種を無料にするなど、もっともっと子供の事を考えて欲しい。
住民の方が、どういう事で困っているのか?具体的な事を(事案)を(ボトム→トップ)へ聴く。それで、では、何が出来るのか?(具体的に)役所+地域で話し合う。そしてボランティアできる人と繋ぐ。
アパートの住人は町内会費を払わない人が居たり、ゴミ当番もやらないのでゴミの出し方も徹底していません。長く住んでいても地域に関する愛着がない様なので仕方ありませんが、行政の方で管理会社を指導して地域住民としての責任を果たすようにしてもらえたらと思います。
他人の悪口など多くて嫌だ。もっと仲良く。

<p>地域福祉に関するかどうか?のところのあるが 70 才を越えて未だ車に乗っているが交通安全を唱え子供、老人を守ろうとスローガンは大きいが肝心のハード面(道路の白線等がおろそか)は後回しになっている。それで高齢者、子供福祉とは?昔は春になればすぐ道路白線(中央線も側線も)を引いたものですが…。子供、高齢者、自転車等を守る地域社会。美しい道路作りを行政にお願いしたい。</p>
<p>引越して 15 年くらいたった。近所の方とは挨拶程度、挨拶返さない方もいる。後ろの家に一人住まいの障がい者の方が住んでいたが、何かおかしいと思い近所の人と相談、通報したら亡くなっていた。6ヶ月前にと聞いてびっくりした。香典持っていこうと思っていたが、家の前に貼り紙もなく、近所の人に聞いたら持って行っていないとの事。私は田舎育ちなので考えられない。こんなに街中は近所づきあいがいいのか本当に戸惑っている。ここ周辺は老人が多く交流もない。我が家も子供たちが都会に出て行って老後孤独死するのでは、と心配である。以前、弘前のある地域で膝、腰の関節を強くする体操を誰でも無料で参加できるようなことがテレビに出ていて、すごく良いと思いました。青森市でも行えたらどうでしょう。短命県返上の為の運動・町内の集会所はないので何箇所かにわけてセンターで！！</p>
<p>今はとても難しい時代だと思う。良かれと思って声かけしても他人へのおせっかい、プライバシーの問題などで思わぬ波風がたち、かえって住みにくくなる場合があるのではないだろうか。民生委員さんなどのご苦勞に感謝しています。どんな方法で私のような年寄りにアンケートなど送られてきたのでしょうか。役に立たなくてすみませんでした。</p>
<p>民生委員の方が自宅訪問し状態確認とか市で行っている福祉情報、行政等を説明とかがあれば良いと思います。</p>
<p>青森市に住んでみて強く感じたことは、市民の方々に心の余裕がないところです。地域性なのかわかりませんが、周りの人への思いやりが持てたらもっと住みやすくなるのではないのでしょうか。</p>
<p>地域で月に 1 回くらい回覧板がきますが、地域についての情報が少ないので交流・協力がわかりません。</p>
<p>隣家の敷地に屋根の雪庇が落下するような建築許可をし、相隣関係を悪化させている実情等を十分踏まえた上、本件施策を推進することを期待したい。</p>
<p>うるさすぎるのも困りものだが、防災の町内放送が聞こえない。(窓を閉めてると)</p>
<p>地域で計画している活動も高齢者が多くなっているのも若い世代が参加できるような計画が必要と思います。</p>
<p>年寄りが多くなる時代なので若い人に頼りっぱなしではなくて自分達がサークルか何かでも?集まりやすい場所とか出来易いと良いのでは?年寄り同士の声のかけ合いとかもいいのでは。町中でも知らない人同士でも仲良く出来る年寄りの輪が出来ると楽しいのではないのでしょうか?町内会だけではなく。色々な会合場所があれば?</p>
<p>性別に関わらず、自分の家の周辺や共有部分の清掃、草取りをすること。お互いに挨拶をすること。</p>

私の地域では、防災には力を入れているが防犯の面にはあまり力を入れていないようです。夜間に他人の敷地に入っている人が居る。犯罪に繋がらなければいいと思っています。防犯カメラは設置できないのかなと思います。

今すぐ出来る事は、挨拶から。お金もかからないで出来る事です。又、青森市内や地域の歴史を子供達に教える事で誇りの持てる子供達を大人が責任を持って育てる事が大事だと思います。都会で育った大人の方達が地元に戻って来れるように就職等、すぐに実行出来たらいいですね!!

地域福祉と一口で言っても、地域のとらえ方によって様々な発想が考えられる。アンケートで答えたものは、私が住む地域(町内会)を想定しての解答である。さて、地域福祉とは何かという概念について私の所見を述べてみたい。福祉の根底にあるものは、思いやりであり、優しさであろう。具体的には笑顔あふれる挨拶、花咲き誇る地域、困った事にはすぐ協力支援する近隣、地域の人々がいつでも集える拠点(施設)、ごみの落ちていないきれいな地域、積極的に協力する人達の居る地域などが考えられる。もう一つ、欠落している観点として地域にある社会教育団体の活動が上げられる。これらの団体が健全に育っている地域が要求される。そして高齢社会を構成している老人クラブの活性化が求められている。地域にあるこれらの団体が相互に助け合い、支え合い協力し合うことが求められている。それらの団体を育成し、地域にある様々な問題を解決していく事が町内会役割であると思う。町内会の健全な活動を指導していくのが行政の役割である。

相談窓口の充実。

町会全体については役員の方々中心に考えて活動しているだろうと思っています。私の住んでいる近隣にそんなに困っている方、手助けが必要な方が居ないので今のところそんなに新たに何かという不安はありません。ただ災害時の避難誘導は住民1人々が周知していた方が良いので、そのへんを浸透させる仕組み作りは早急に必要なのではと思います。

利害関係のない地域づくり。

高齢者を大事にすることはとても良い事だとは思いますが、けれどその高齢者自身が若者を大事にしないため困っている高齢者を見てもあまり助けようという気にならない。小学校くらいまでは地域のゴミ拾いなど行事としてあったが中学・高校生まで進むとそういった行事もまるでなかった。若者と高齢者が関わりを持てるような行事などを作らなければ地域作りも何も無いと思う。

うるさくない程度に賢く気を配ってくれてるようで感謝しています。もう物が二重に見えて書くことも読む事も出来ません。お許し下さい。

組の構成員が3家族で高齢の夫婦が主。周りに空き家が多い。多忙で提出が遅れました。

地域ごとに交流や活動が活発な所、我町内は非活発のように思っている。近所の高齢者(1人暮らし)の安否確認が町内で実施出来ると1人暮らしの方々は大抵安心しているようだ。いままで元気なお年寄りが今日は調子が悪いと何日も食事をとれずにいる等、心配!安否確認と交流の場が必要。

年齢的な悪条件があっても隣近所の方々や通行する人々や自動車がスムーズに走行できるように徐排雪は今もって実行しているのが唯一の奉仕活動かな？

冬の除雪作業がやりにくい場所です。雪を捨てる場が大変です。雪が多い日は皆大変だと思います。タクシーや緊急車両が入ってきにくいだらうなと思うことがあります。どこも多分そうだと思いますが…。

個人情報保護法が施行されて以来非常にやりづらい面がありました。そこの所の兼ね合いが問題だと思います。